



伸びゆく力

↑有佐小HPはこちらから！

<https://es.higo.ed.jp/arisaes/>

今号は、4月に6年生が受けました『全国学力・学習状況調査（全学調）』の結果と7月に児童・保護者・教職員から回答を得た『学校評価アンケート』の結果を載せています。全学調においては、下学年の学習内容とのつながりを分析をし、全ての学年の担任が今後の取組において強化していく内容等を確認しました。また、学校評価においては概ね良好な評価結果でしたが、課題には丁寧に向き合い、学校総体としての取組をそれぞれの主査がリーダーシップをとって取組を進めることを確認しました。ご家庭や地域からのご協力も引き続きよろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査結果より

国 語	算 数	理 科
平均正答率 59 全国(66.8)・県(66)を下回った。	平均正答率 49 全国(58)・県(55)を下回った。	平均正答率 51 全国(57.1)・県(57)を下回った。
「言語の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」は、全国・県平均を上回った。	知識や技能を問う問題の正答率は、全国平均と同程度か上回っており、基礎的な知識の習得は一定程度進んでいる。	
「読むこと」「書くこと」に課題がある。	知識・技能を実生活に活用する、様々な課題解決のために思考する、自分の考えを根拠を示しながら表現する、といった力に課題がある。	

《全担任で分析を共有し、更なる授業改善や日常活動の工夫に努めていきます！》

- 複数の資料を結びつけて読む学習活動
- 自分の言葉で短くまとめる機会
- 他者に分かりやすく表現する機会 等々
- 自分の経験や知識を結びつけて思考する機会
- データ（グラフや図）の特徴や傾向を捉える練習

児童質問紙(i-check)

Q 分からないことや詳しく知りたいことがあったとき、自分で学び方を考え、工夫することができているか。【学習意欲】	Q 学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間勉強するか。【家庭学習習慣】
肯定率 84.3(全国71.7) 全国・県より高い水準にある。	1時間以上の割合 平日 42.1(全国54) 休日 42.2(全国47.1)
Q 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげている。	Q 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思うか。
肯定率 94.8(全国79.4) 学習の振り返りを大事にする授業が定着している。	肯定率 78.9(全国79.4)

《学級経営、校内研修部会提案に活かしていきます！》

- 「鏡中校区家庭学習の手引き」の活用
- 『進んで学びに向かう力』の育成を目指した取組の工夫
- 体験活動を通した道徳的態度の育成 等々

裏面に続く→

R7 学校評価(前期)

— 児童 — — 保護者 — ... 教職員

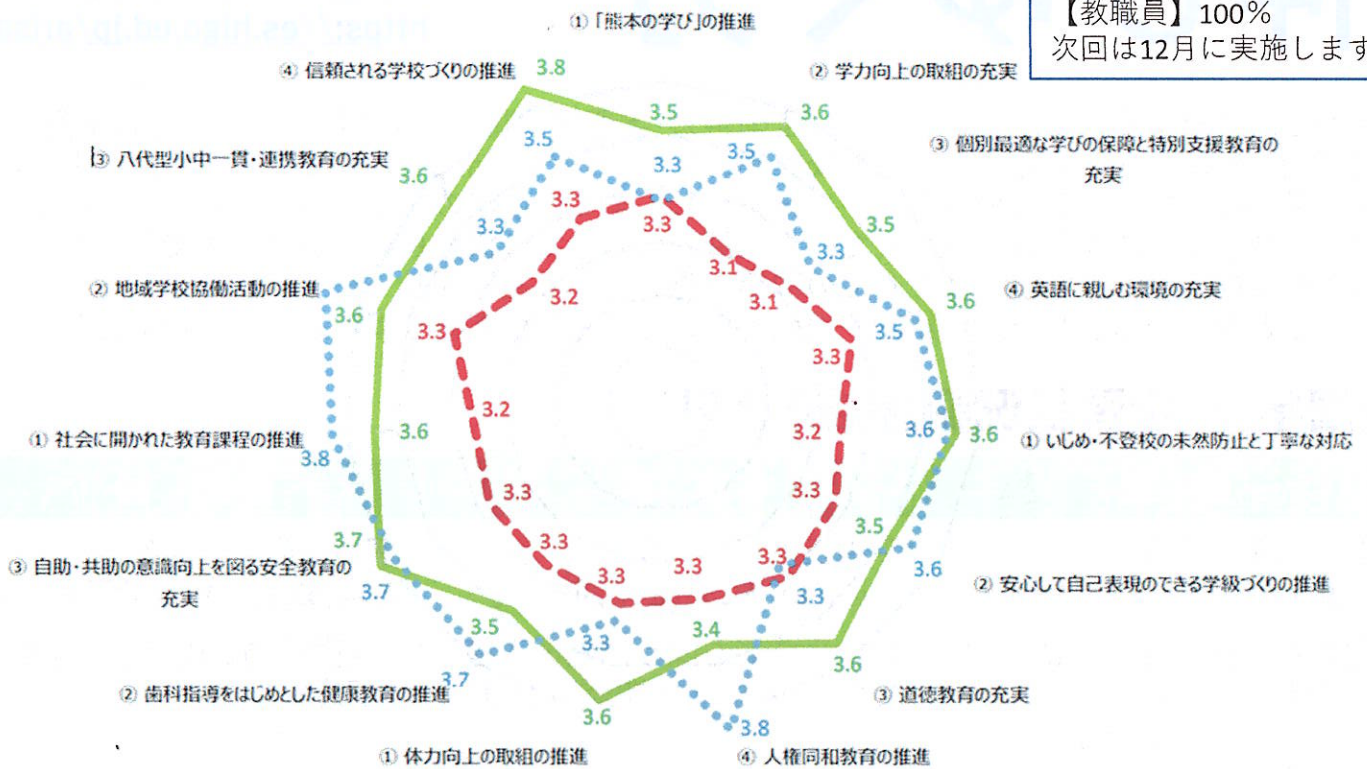
《回答率》

【児童】 95.2%

【保護者】 66.7%

【教職員】 100%

次回は12月に実施します。



アンケートの結果等を受け、2学期は、以下の4点に特に力を入れて取り組みます

学び③ 個別最適な学びの保障と特別支援教育の充実

- ★児童用タブレットの活用促進
 - ・朝自習、家庭学習などへの活用
 - ・授業の中で活用する時間設定

☆校内支援委員会の充実

自分をみつめる
自ら学ぶ!

タブレットを活用して自分に必要な学びを選択して学習を進めるには、付随して様々な力が必要です。そこも個に応じた支援、学年に応じた指導を工夫して行っています。

仲間④ 人権同和教育の推進

- ★互いの良さに気付く、伝える、深める
機会の充実

- ・人権学習の時間の充実
- ・帰りの会での「振り返り時間」の確保

☆通信等による
保護者への啓発

思いを伝える
思いを受け取る!

「1日1回ありがとうを伝えよう」と校長から示しています。そのためには、友達や先生の言葉をしっかり聴く、行動に気付くことが大事です。そこを意識付けするための場を工夫していきます。

体① 体力向上の取組の充実

- ★体力テスト結果を活かした授業づくり
 - ・コーディネーショントレーニング
 - ・「めあて」を明確にした活動
 - ・運動量の確保

コツコツ続ける
みんなでチャレンジ!

準備運動をこれまで以上に意図的な活動として位置づけ、授業を中心に体力向上の取組を継続していきます。持久走は、業間も使って各自が個別のめあてを持って取り組みます。

地域② 地域学校協働活動の推進

- ★地域とPTAの連携
 - ・安全な登下校の見守り
 - ・学校敷地内の環境整備
- ★計画的な協働活動の推進
 - ・読み聞かせ
 - ・授業支援

つながる力
未来に繋ぐ!

至る所で地域サポーターの皆様から学校の教育活動にお力添えをいただいています。コーディネーターと連携し、さらに充実するよう努めます、児童及び保護者への啓発をさらに工夫していきます。